

①施策の目的等

施策の名称	施策Ⅱ-5-1 道路網の整備と維持管理
目的	効率的・計画的に道路の整備や維持管理を行い、県民が通勤、通学、買い物、医療、福祉等の日常生活や産業活動を円滑に行えるようにします。

②成果参考指標の目標（実績）と施策の現状、及びその評価

数値目標	年度	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	単位	数値目標	年度	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	単位
幹線道路の改良率	目標値		85.0	86.0	87.0	88.0	%	生活関連道路（優先整備区間）のみなし改良率	目標値		72.0	73.0	74.0	75.0	%
	取組目標値								取組目標値						
	実績値	84.0							実績値	71.0					
	達成率	-	-	-	-	-			達成率	-	-	-	-	-	
道路管理瑕疵による年間事故件数	目標値		22.0	22.0	22.0	22.0	件		目標値						
	取組目標値								取組目標値						
	実績値	25.0							実績値						
	達成率	-	-	-	-	-			達成率	-	-	-	-		
定性目標	平成28年度～平成31年度														
成果参考指標の実績等の補足説明（任意記載）															

③評価時点での施策目的に対する現状

評価時点で施策目的に対する現状 (客観的事実・データなどに基づいた施策の現状や取組状況)	<p>【道路整備】</p> <p>○道路改良率は全国平均（H26 76.5%）より10ポイント程度低く、県内全市町村・期成同盟会等から整備要望が多い。</p> <p>○幹線街路整備率は、全国平均を上回っているが、未整備の路線が多数残っている。</p> <p>H26、3整備率：島根県69.2%、全国平均62.7% H26、3未整備延長 130.4Km</p> <p>○漁港関連道路は、和江漁港（大田市）を着実に整備している（期間：H24～29 H27未整備率：約70%）</p> <p>【道路維持】</p> <p>○日常的な道路パトロールと維持修繕を行うとともに、橋梁やトンネル等の構造物について、修繕計画に基づき計画的に老朽化対策を実施している。</p>
---	--

④今年度末の施策目的の達成度予測

	判断	その理由
28年度の施策目的の達成度予測 A:達成できる B:概ね達成できる（見直す点がある） C:達成は困難	B	<p>○道路改良は、地域住民等関係者の理解と協力を得ながら、工事が順調に進んでおり、道路網の整備は着実に進んでいる。</p> <p>○道路の維持管理については、舗装修繕や道路施設の定期点検及び老朽化対策等の実施により、適正な維持管理に努めている。</p> <p>○道路の落石対策は、「落石事故再発防止検討委員会」の提言を踏まえてとりまとめた「落石に係る道路防災計画」に基づき、再発防止策を実施していく。</p>

⑤課題の認識

	判断	その理由（④の「判断」と異なる「判断」の場合のみ記載）
(1)平成31年度末の施策目的の達成状況（予測） A:達成できる B:概ね達成できる C:達成は困難	B	
(2)施策の目的達成に向けての課題		<p>○各事業の着実な実施には、必要な予算額を確保することが必要である。</p> <p>○街路事業は、住民の合意形成に一層積極的に取り組み、事業用地を計画的に確保する必要がある。</p> <p>○橋梁、トンネル等の道路ストックの老朽化対策は、今後対象が増えていくため、予算確保に加え道路管理者の技術力向上も必要である。</p> <p>○近年、管理瑕疵による事故の通報が増加傾向にあり、異常に対する早期発見と対応が求められている。</p>

⑥今後の取組みの方向性

課題解決に向けての今後の取組みの方向性	<p>○必要な予算が確保されるよう、また、整備の遅れた県の実情に応じた配分がされるよう国等の動向を注視・分析し、工夫をしながら国に働きかけるとともに、引き続きコスト縮減を図る。</p> <p>○道路整備については、構想段階からの住民参加、説明会や広報活動の充実により関係者の事業への理解と協力を得て、事業進捗に努める。また、県単用地先行取得制度や、必要な場合は法的解決手段を活用し、着実な用地取得に努める。</p> <p>○維持管理については、道路パトロールの徹底と「道と川の相談ダイヤル」を活用により、早期発見・補修を図る。また、老朽化対策に関する対応として、産官学が協力して技術力向上に向けた情報共有に努め、メンテナンスサイクルが確実に回るような体制づくりなどを進める。</p>
---------------------	---

施策評価シート別紙2(事務事業一覧)

施策の名称	施策Ⅱ-5-1 道路網の整備と維持管理				
-------	---------------------	--	--	--	--

(単位:千円)

	事務事業名	目的(意図)	前年度 事業費	今年度 事業費	所管課名
1	広域ネットワークの形成に資する漁港臨港道路整備事業	漁業活動が安全で効率的に行えるようにするとともに、漁村に生活する住民の利便性を高める。	176,270	521,137	漁港漁場整備課
2	市町村中心部へのアクセス時間短縮のための県代行市町村道路整備事業	市町村中心部から遠い集落に居住する住民の中心部へのアクセス時間を短縮する	132,276	186,097	道路維持課
3	道路維持修繕事業	道路を安全で快適に利用できる状態に維持する	7,208,798	7,109,886	道路維持課
4	道路愛護意識等啓発事務	大切な公共施設である道路を守り大切にする意識の向上を図る。	30,560	35,174	道路維持課
5	道路事故損害賠償事務	道路管理者として、被害者に対する適切な賠償を行う	7,500	7,564	道路維持課
6	道路台帳整備事業	適切な道路の整備、維持管理を図る	13,093	14,973	道路維持課
7	財産処分事務	道路として不用になった土地を、希望者へ適正価格で払い下げる。	5,133	7,712	道路維持課
8	幹線道路整備事業	高速道路インターチェンジや生活圏中心都市等への移動時間を短縮する。	10,563,319	11,251,653	道路建設課
9	生活関連道路整備事業	県道のうち幹線道路を除いた区間で、一定規模集落から幹線道路や市町村の中心部等への移動時間を短縮する。	5,891,877	6,636,594	道路建設課
10	街路整備事業	安全で快適な街路整備により、都市内の移動や活動を容易にする。	3,761,923	3,318,677	都市計画課
11					
12					
13					
14					
15					
16					
17					
18					
19					
20					
21					
22					
23					
24					
25					
26					
27					
28					
29					
30					
31					
32					
33					
34					
35					
36					
37					
38					
39					
40					